愛媛果試第28号(紅まどんな)愛媛県育成品種

来歴 南香 × 天草



育成経過

平成 2年 「南香」に「天草」の花粉を交配

平成 5年 温州ミカンに高接ぎ

平成 7年 初結実

平成 9年 二次選抜 系統名「愛媛28号」

平成 12年 現地適応性試験開始

平成 15年 種苗法に基づく品種登録申請

平成 17年 3月品種登録(登録名:愛媛果試第28号)

全農が「紅まどんな」で商標登録

果実品質

(みかん研究所)

調査日	横径 (cm)	果形指数			クエン酸 (g/100ml)
12月1日	8. 4	115	272	12. 0	0.80

(H25-R4)



特性

樹姿は開張性で樹勢はやや強い。成熟期は12月。

果実は250g程度(伊予柑程度)。

果皮は薄く滑らかで濃い紅色。

果肉は極めて柔軟多汁で、ゼリー様の独特な食感、種子は無く、皮は剥きにくい。

12月に糖度12、クエン酸1%程度。

果皮が弱く、成熟期にヘタ周辺にひび割れ(果皮障害)が発生することがあるので、防止のため、**雨よけ栽培を** 基本とする。



歳末贈答用として期待され、栽培面積は増加中。 R2年産 栽培面積:287ha 生産量:4,200 t 栽培は県内に限定。